

東奥日報新町ビル

New's開館記念

めぐる文様

新聞紙から
生まれる命

2019
5.3^{FRI} - 6.16^{SUN}

9:00 - 18:00 (最終入場17:30)
東奥日報新町ビル3階 New'sホール
青森市新町2丁目2-11

撮影OK




《かばのあくび》2018年
©HITOTSUYAMA STUDIO

観覧料 / 600円 ※前売・団体(20名以上)500円 / 小中学生無料

前売券
3/1(金)より販売開始

ローソンチケット(Lコード22097)、セブンチケット、青森県民生活協同組合、サンロード青森、
リンクステーションホール青森、さくら野百貨店青森本店・弘前店・八戸店、ELMインフォメーション

問い合わせ / 東奥日報社事業局事業部 TEL 017-718-1135 (平日 9:00~17:00)

- 主催 / 東奥日報社、東奥日報文化財団 ●特別協賛 /  王子製紙株式会社 ●協賛 / 青森銀行、みちのく銀行、青い森信用金庫、東奥日報販売店主会
- 後援 / 青森県、青森県教育委員会、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、エフエム青森、青森ケーブルテレビ
- 企画制作 / HITOTSUYAMA.STUDIO ●協力 / ーッ山産業株式会社

New's
ニュース TO-O

新聞紙から生まれる新たな命。 一本のこよりがほぼ等身大の動物に。



《さるの寝息にそっと耳をすませる》2016年 ©HITOTSUYAMA .STUDIO

開催によせて

紙、文字、文様は、古代文明から人類の営みを記録、伝承し、広げるために連綿と続く智慧です。これらの智慧は文明や環境の変化と共に消え、また新しい形で現れます。伝承しながら、堆積された多くの智慧は、長い年月をかけて循環していきます。また、循環の積み重ねが、新たな智の堆積を生み、新たな文様(命)を生み出します。

私たちが生きている地球環境も循環と堆積を繰り返しており、その自然環境の中で生きている動物は私たちの知らないことをたくさん知っています。動物たちからの学びは自身の学びへとつながります。私たちの制作過程においても循環と堆積は重要な役割を果たしています。人々が読み終えた新聞紙を作品の素材として再利用し、その新聞紙から一本のこよりを作り、やがて大きな彫刻へと文様をめぐらせています。日々、発行している新聞が人々の営みをアーカイブして智の循環と堆積を行う事で智慧の文様を作り出しているように感じられるのです。

HITOTSUYAMA .STUDIO



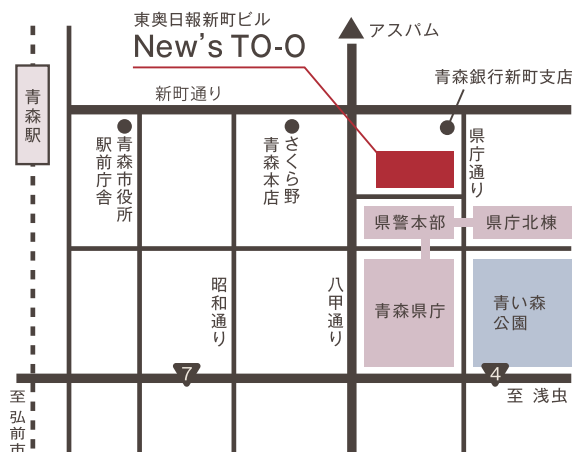
《TO HEAR YOUR FOOTSTEPS》2016年
©HITOTSUYAMA .STUDIO

HITOTSUYAMA .STUDIO

作家・一ツ山チエと作家兼ディレクター・玉井富士(たまいとみじ)による創作スタジオ。
2011年HITOTSUYAMA .STUDIOを設立。

主な展覧会

- 2013年 『かみのこもりうた〜新聞紙から生まれるいのち』GINZAMITSUKOSHI GALLERY/東京
- 2014年 『大海原に旅に出る』船橋アンデルセン公園こども美術館/千葉
- 2016年 『To hear your footsteps』Museum of Art and History(MOAH)/カリフォルニア
- 2017年 “MATT Construction Downtown Los Angeles Office Opening Event” Exhibition / MATT Construction Corporation/カリフォルニア
- 2018年 『かばのあくび』国際紙パルプ商事TUNAGU GALLERY/東京



〈交通アクセス〉

- 青森駅から徒歩約9分 ●JR新青森駅から車で約15分 ●青森中央I.Cから車で約13分
- 青森市営バス「県庁通り」バス停から徒歩約1分 ●青森市営バス「県庁前」バス停から徒歩約3分

本展では公開制作を行います。
新聞紙から一本のこよりを作り、
幾重にも積み重ねて作品ができ
ていく過程をご覧いただけます。
また、新聞紙を用いたワーク
ショップなども予定しています。

《セイウチの涙》2012年
©HITOTSUYAMA .STUDIO

